

2002.2.1
平成14年

発行 佐倉市議会 編集 議会報編集委員会

〒285-8501 佐倉市海隣寺町97番地 ☎484-6177



佐世保市菅泉福寺団地を視察

文教福祉常任委員会

長崎県佐世保市、島原市を視察
佐世保市では、福祉のまちづくりをテーマに、「高齢者あんしんセンター」や「介護保険市民の会」の設置など介護保険制度に備えた体制づくり、道路・建造物のバリアフリー化の推進を視察。市菅泉福寺団地は高齢者や障害者が自立しながら安全で快適な生活ができる住まいを提供。一般住宅とのふれあいの場、生活援助員の派遣などが特徴。
島原市では学校給食の取り組み、島原復興アリーナを視察。

- 議員活動 -

常任委員会で
先進市の施策を
見て・学ぶ

12月定例会

補正予算など議案18件を可決
市役所隣接地10,366平方メートルを
1億7600万円で購入

12月定例会は、12月3日から19日までの17日間にわたり開かれました。今定例会では、「平成13年度佐倉市一般会計補正予算」など議案17件、諮問1件が提出され、すべて原案のとおり可決・同意しました。請願・陳情については、「保育所運営費の増額を求める意見書の提出に関する陳情」など7件、議員発議については、「佐倉市の災害対策に関する決議」など6件を提出し審議しました。一般質問には、各会派の代表質問に6人、個人質問に8人が登壇し、市政について広範囲の質問を行いました。



白杵市ケーブルネットワークセンターを視察

総務常任委員会

大分県白杵市、山口県萩市を視察
白杵市では、市内全域のケーブルネットワークと「ふれあい情報センター」を中核とする地域イントラネットを基盤に、市民が情報技術を使いこなすことを目指している。また、「白杵市情報ネットワーク構想」と称し、公設公営方式のCATVの双方向性を利用して市民と情報を送受信し、医療・福祉・行政サービスなど、様々な分野での活用を開始している。
萩市では、福祉と観光を融合させた新しい交通システム：『萩循環まあるバス』を視察。



地区の中心に配置された公園を視察（西宮市）

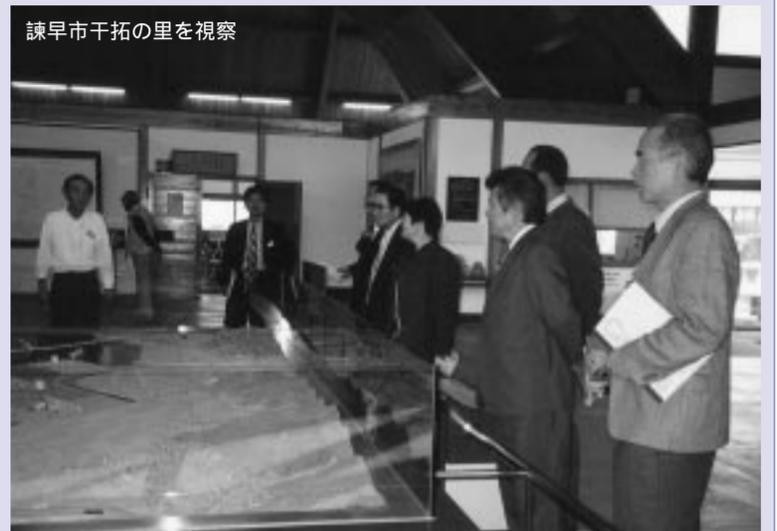
建設常任委員会

兵庫県西宮市、大阪府高槻市を視察
西宮市では、土地区画整理事業、震災経験を踏まえた公共施設の整備充実を視察。地域コミュニティーの場であると共に一時避難拠点としての機能を持った公園を地区の中心に配置し、通過交通を住宅地内に必要以上進入させないよう道路をループ状に配置することによって、良好な住環境を創り出している。地区内の交通事故防止にも役立っている。
高槻市では、萩谷総合公園を視察。

経済環境常任委員会

長崎県諫早市、大村市、佐賀県鹿島市を視察
諫早市では、諫早湾干拓事業の効果について視察。諫早湾の干拓は、高潮、洪水、排水不良に対する防災機能の強化と共に生産性の高い優良農地を造成し、地域の活性化を図ることを目的としている。干拓地における畑作営農の調査の結果、既耕地とほぼ同等の生育が確認されている。
大村市では中心市街地活性化事業、鹿島市では回収ボックス設置による蛍光管・体温計のリサイクル回収について視察。

諫早市干拓の里を視察



市政に関する一般質問

一般質問とは、議員が議案に関係なく、市政全般にわたり質問することをいいます。12月定例会では、10日から12日の3日間にわたり、一般質問が行われ、市政に対し活発な議論が展開されましたので、その一部を掲載します。詳細については、市役所内市政資料室・市内各図書館で会議録（3月上旬発行予定）をご覧ください。

一般質問《代表質問》質問事項

議員名	質問事項	印 本文に内容を掲載 印 本文掲載以外の質問項目
(さくら会) 押尾豊幸	予算編成方針及び重点施策について 保育問題について 教育問題について	
(公明クラブ) 吉井大亮	国立佐倉病院の統廃合問題について 市長の政治姿勢について 志津霊園問題について	
(市民ネットワーク) 中村春子	大型事業の今後の方向性と問題点について 国立佐倉病院の後医療の今後と市民への経過説明は？ 志津霊園移転問題について	
(創生) 中原英雄	不況下の雇用対策 入札制度の改善と改悪 新庁舎の建設	
(市議会) 臼井尚夫	農業振興策について 公園等施設の管理について 最近の住宅事情と市営住宅について	
(新社会党) 勝田治子	総合オンブズマン制度の導入について 介護保険について 男女混合名簿について	

公明クラブ

吉井大亮 議員

問 国立佐倉病院統廃合後に進出を希望する社会福祉法人聖隷福祉事業団が、去る11月22日佐倉市を訪れて、後医療の構想案を示した。佐倉市は厚生労働省に統廃合後の後医療について、総合病院的な診療科目を有すること及び救急医療の実施ができる病院の進出について配慮をお願いしている。この社会福祉法人聖隷福祉事業団の後医療の構想案は佐倉市の要望が反映されているのか。また要望を実現するための施設の整備計画はどのようなものか。

答 進出を希望している事業団の基本構想では、総合病院的な診療科目を有する病院、救急医療の実施がなされる病院であると提案を受け止めている。また地元医師会から、

国立佐倉病院の統廃合問題について



今定例会では、「国立佐倉病院統廃合に伴う後医療の充実を求める決議」を可決

市民ネットワーク

中村春子 議員

問 今、財政状況が大変厳しいにもかかわらず、寺崎土地区画整理事業、岩名運動公園拡張事業、酒々井リサイクルセンター焼却炉増設の負担金など80億から100億を要するものを始め、(仮)白銀小建設、大蛇市営住宅建設など多くの事業が計画されている。たとえ計画上にあっても、その事業が本当に必要かを検討すべきでは、

答 事業計画については、行うべき事業、延期、縮小、凍結すべき事業、民間に移すべき事業といった可能性を検討しながら現在策定している。今後財政状況も一層厳しくなることが予想され、事業の必要性、有効性、効率性を評価し、創意工夫を加えながら事業化していく。大規模事業については、財源の裏付け

大型事業の今後の方向性と問題点について



黒川紀章氏設計による現市庁舎は、印旛沼に船出する新生佐倉市をイメージして建設

さくら会

押尾豊幸 議員

問 佐倉市の財政推計は非常に厳しいが、今後予定されている寺崎土地区画整理事業、岩名運動公園拡張事業、市営住宅建設計画などの大きな事業を含め、市長はどのように行政運営を進めていくのか。

答 今後予定している事業はその必要性、緊急性などを勘案し、その事業の種類によっては事業期間の延長、あるいは先送り、凍結といったことも必要になると考えている。住民福祉や教育等については後退にならないよう適正な行政水準の確保向上を図っていききたい。

行政運営について

防災に対する

佐倉市の今後の対応について

問 佐倉市の主要河川である高崎川・鹿島川流域は、急激な都市化によって雨水浸透率が急激に低下し、大雨の際には上流で降った雨水が流域を經由して高崎川に流入、表町・錦木町に甚大な被害をもたらすことがしばしばある。平成3年、8年そして今回と水害が発生したが、どのように対処していくのか。

答 これまで高崎川の堤防のかさ上げ、鹿島川の拡幅事業などが行われている。引き続き行ってくれるよう関係官庁にお願していく。市としては、内水の排除ポンプの増設、寺崎都市下水路の改修整備を考えている。また、小学校などの公共施設の運動場を使って雨水を一時的に貯留する施設も計画している。高崎川については、県の管理なので、遊水池機能を整備するよう県にお願していく。



鹿島川は、高崎川との合流地点から印旛沼まで拡幅工事が行われる(鹿島橋より撮影)

個人質問

新庁舎建設計画について

藤崎長次 議員

問 市長は前議会で「新庁舎計画は進めていく、場所の決定は平成15年より早く決めたい」と述べましたが、建設基金は50億円にも達していません。この新庁舎建設計画の現状を市長は、市民に正直に知らせるべきである。市民アンケート調査では回答者の約半数が新庁舎建設計画を知らないと考えている。市長は、新庁舎建設計画を凍結すべきである。また、過半数の市民が反対している事をどう考えるか？

答 場所の決定、規模の決定、予算の計画が行われていなければ決定とは言えず白紙の状況である。指定ごみ袋の変更に係る問題点について

市民ネットワーク 宮部恵子 議員

問 活性フェロキサイトは、ポリエチレンフィルムの大手メーカー大倉工業が特許を保有している。ごみ袋の基準にこれを入れたことと、旧ごみ袋を取り扱っていた日東興産のみが認定を受け、競争原理が働いていない。活性フェロキサイトは、ダイオキシンの生成抑制効果があるとしているが、信頼性の高い公的機関の実証があるのか。メーカー側は、ごみ総量の0.2%ないとも効果がなく、ごみ総量の0.3%ないとも配合で市の焼却ごみ総量の何%になるのか。

答 ごみ袋の性能を認証する公的機関は存在せず、民間機関が広島大学の焼却炉で調査した結果では抑制効果が認められている。焼却ごみ総量に占める活性フェロキサイトの割合は0.015%となっている。

精神障害者の

福祉対策について

公明クラブ 長谷川 稔 議員

問 法律改正により、平成14年度より障害者福祉に関する一部の事務(従来、保健所が窓口となつて

いた精神障害者保健福祉手帳及び精神科への通院医療費助成の申請等)は福祉サービスに関する相談等の事務が市に移管されるが、それへの対応は万全か。また、精神障害者家族会が、去る11月14日市長に対し、精神障害者への福祉サービス体制の整備について6項目の要望書を提出したがそれについての対応は。

答 法律改正は、市民に身近な機関として市町村が窓口になることがふさわしいとの観点からなされた措置であり、市としても対応に向けて体制を整備している。要望書の内容は、今後の市の施策の中に取り入れて参りたい。

学校における男女混合名簿の導入について

市民ネットワーク 服部かをる 議員

問 さくら市民ネットワークでは、全小中学校を訪問し実態調査を実施した。導入済の学校は小学校2校、前向きに検討したいという学校は、小学校12校、中学校6校だった。教育長は、混合名簿導入の必要性についてどう認識しているのか。また、今後の対応は。

答 男女平等教育は学校教育のみならず、あらゆる教育の場で積極的に推進していく必要がある。男女混合名簿については、男女平等共同参画社会構築の上で一つの契機となる効果的な方法であると考えている。先般の校長会議においても、男女混合名簿の導入に向けて各学校で論議するよう指示をした。各学校でも、校内研修等でジェンダーフリー教育に積極的に取り組んでいくよう指導して参りたい。

男女平等参画社会について

公明クラブ 神田徳光 議員

問 当市では、佐倉市男女共同参画社会づくりプランを策定し行動計画を推進しているが、市役所内部における取り組みはどのようなものか。

答 市の政策決定の場合の女性の積極的参画として、女性職員の管理職への登用については、能力、経験等を有している職員において、性別に関係なく登用していく。また、今年度から課長職について昇任試験を実施する。当市の各

新社会党

勝田治子議員

総合オンブズマン制度の導入について
佐倉市では市民の苦情や意見、問題提起などはどう集約されるか。総合オンブズマン制度は、行政と市民が同格で問題解決に向かう点で行政への信頼が高まり、行政としても透明性の高い対応と実績が積まれる。総合オンブズマン制度の導入についての考えは。

交通安全対策について
上座交通安全公園をさらに充実し交通安全教育の拠点とすべきである。また交通安全意識の高揚道路の照明とパリアフリー化についての考えは。交通安全公園を活用した交通安全教室は小中学生に大変効果があり、今後もこの活用を努めていく。交通安全意識の向上については創意工夫しながら取り組んでいきたい。街灯については駅周辺、公共施設500m以内のところ、バス通り等重点的に整備を進めていく。段差の解消は、パリアフリー計画の中で改善していく。



交通安全移動教室で自転車の乗り方を指導（佐倉小）

創生

中原英雄議員

市長の政治姿勢
志津霊園問題の未解決、職員の不祥事への無責任ぶり、不要不急な旧西志津小分離校用地買収、国立佐倉病院後療への取り組み方等、次々と浮かぶのが市長の政治決断と熱意のなさの証であるが、市長の政治姿勢を問う。

表町の水害
10月10日の表町の水害は人災である。危機管理の意識と決断力、行動力の欠如が床上浸水等被害を大きくした。調整池を作る等の対策をとってこなかったことからも人災と言いたい。今後の対策は。



寺崎市下水路は、JR軌道から高崎川合流地点までの改修費用が今定例会で予算化

市政会

白井尚夫議員

歳出の重点四項目について
施設の建設は計画中のものでも延期、凍結、見直しをすべきではないか。固定的、経常的な経費も削減の対象とすべきでは。費用対効果の高いものに予算配分することが原則だが、市が考える費用対効果の高いものは何か。市民と痛みを共有せねばならない場合が多くあるが、どのような施策を考えているのか。

志津霊園道路の開通をどう進めるか
3年余にわたる本昌寺との調停が不調に終わり、市長は寺側との直接交渉によって、事態の打開を図ることにしたが、今後の取り組みと方針は。



志津霊園上空から（下方が佐倉市側、上方が八千代市側）

佐倉市庁舎建設問題

具体的な建設計画なしとの回答

新庁舎建設問題については、各議員へも問い合わせをいただいています。議会としても現在の正確な状況を把握するため、平成13年11月14日付け文書で、市長に対し、市庁舎建設についての考えを照会しました。市長からの回答を皆様にお知らせします。



新庁舎建設現場の様子

平成13年11月28日

佐倉市議会議長 桐生政広様
佐倉市長 渡貫博孝
佐倉市新庁舎建設計画及びその進捗状況について（回答）

新庁舎建設につきましては、市民の代表26名で構成された佐倉市庁舎建設委員会から、平成10年11月20日に、佐倉市庁舎建設に関する提言が出されております。これまでの議会における答弁では、「平成15年頃までに建設位置の選定を行っていききたい。」「建設に係わる経費については、ここ数年に建設された他市の状況から1平方メートル当たり45万円から50万円となっていますので、これを参考にしていきたい。」というような内容で答えております。現在は、庁舎建設基本調査会において場所の絞り込みを行っている段階であり、具体的な建設計画はございません。（添付書類）

- 1 佐倉市庁舎建設に関する提言について（佐倉市庁舎建設委員会作成）
2 佐倉市庁舎建設に関する提言の公表（平成11年1月1日号こうほう佐倉掲載）

提言は、市役所市政資料室、佐倉市のホームページで見ることができます。

出産育児一時金の支給について
公明クラブ 森野 正議員
出産育児一時金の支給に係る出産費貸付制度は、多くの市町村で導入され評価されている。当市における制度導入についても6月議会でも市長より前向きな答弁をいただいたところであるが、導入に伴う各種問題点が予測される。そこで幾つかの先進的な自治体が入っている出産育児一時金委任払い制度（被保険者は直接支給を受けず、受領を医療機関に委託して、国民健康保険から直接病院や医院などに支払う）の導入に対する佐倉市の取り組みを伺いたい。

地域医療を考えると
戸村庄治議員
地域住民の願いがどこにあるのか、が基本となるべきである。国立佐倉病院の存続拡充を求め、10万人署名、地域住民の願いは厳然と存在している。この事実について市長はどう受け止めているのか。

保育行政（学童保育）について
新社会党 冨塚忠雄議員
先般開かれた佐倉市保育園管理運営委員会の議題の一つに、公立学童保育の有料化があるが、保護者の負担を軽減するため、提案を撤回し、民間の学童保育所に対しての市補助金を増額すべきである。また、学童保育所の定数を登録数を超えている地域については、既存学校施設や敷地を借用することにより対応できないか。

Table with 2 columns: 議員名, 質問事項. Lists various council members and their questions regarding school issues, childcare, and public facilities.

学童保育の有料化について
昨今の財政状況が厳しい中で、新たな保育サービスの充実・学童保育の内容整備等、経費が過大となつてきているため、受益者負担の観点から利用者に一部負担をお願いしたい。なお、井野小学校施設を利用している学童保育については、大規模開発が予想され難しいが、学校敷地には余裕があり施設を建設する等の可能性はある。

12月定例会の議案と議決結果

市長提出議案	丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号	は全員賛成、 は賛成多数、 は賛成少数	本会議の議決結果
①	平成13年度佐倉市一般会計補正予算		原案可決
②	平成13年度佐倉市国民健康保険特別会計補正予算		原案可決
③	平成13年度佐倉市下水道事業特別会計補正予算		原案可決
④	平成13年度佐倉市介護保険特別会計補正予算		原案可決
⑤	平成13年度佐倉市水道事業会計補正予算		原案可決
⑥	政治倫理の確立のための佐倉市長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑦	佐倉市法定外公共物管理条例制定について		原案可決
⑧	佐倉市道路線の認定について		原案可決
⑨	佐倉市道路線の認定について		原案可決
⑩	土地取得について		原案可決
⑪	佐倉市八街市酒々井町消防組規約の変更に関する協議について		原案可決
⑫	平成13年度佐倉市一般会計補正予算		原案可決
⑬	議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑭	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑮	教育委員会教育長の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑯	一般職職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑰	佐倉市水道事業企業職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部を改正する条例制定について		原案可決
⑰	人権擁護委員候補者の推薦について		同意
議員発議	丸数字は発議案番号		
①	佐倉市の災害対策に関する決議		原案可決
②	国立佐倉病院廃止統合に伴う後医療の充実を求める決議		原案可決
③	共に学ぶ教育の推進を求める意見書		否決
④	JR佐倉駅周辺地区の治水対策並びに佐倉市見舞金支給要綱の時限措置に関する決議		否決
⑤	印旛沼の環境保全及び治水対策事業の早期実施に関する意見書		原案可決
⑥	教育予算増額に関する意見書		原案可決
請願・陳情	白抜き数字は陳情番号		
⑱	保育所運営費の増額を求める意見書の提出に関する陳情		不採択
⑲	保育所整備計画をつくり施設整備費の増額を求める意見書の提出に関する陳情		不採択
⑳	「印旛沼の環境保全及び治水対策事業の早期実施に関する意見書」提出に関する陳情（経済環境常任委員会付託部分）		採択
⑳	「印旛沼の環境保全及び治水対策事業の早期実施に関する意見書」提出に関する陳情（建設常任委員会付託部分）		採択
㉑	健康保険本人三割負担、高齢者二割負担などの患者負担引き上げの中止を国に求める陳情		不採択
㉒	法務局の増員に関する陳情		不採択
㉓	准看護婦・士の看護婦・士への移行教育の早期実現を求める陳情		不採択
㉔	「教育予算増額に関する意見書」採択に関する陳情		採択
閉会中の継続審査となっていた請願・陳情			
⑰	「印旛沼環境保全・治水対策早期実施意見書」提出に関する陳情		取り下げ

主な議案の概要

- 主な議案の概要をお知らせします。
- 丸数字は議案番号、白抜き数字は諮問番号、議案名は、右の一覧表をご覧ください。
- ① 歳入歳出3億987万6000円の追加補正を行うもので、予算総額421億4212万6000円となる。職員人件費の減額、扶助費、予防接種費用の増額などで、財源は、分担金及び負担金、国・県支出金、繰越金を計上。また、弥富地区消火栓設置工事に係る繰越明許費の設定、学校給食業務委託に係る債務負担行為の追加をするもの。
 - ② 歳入歳出4億3719万5000円の追加補正を行うもの。退職被保険者等療養給付費の増額などで、療養給付費交付金、繰越金などを計上。
 - ③ 歳入歳出103万7000円の追加補正を行うもの。職員人件費の減額、公課費の増額など。
 - ④ 歳入歳出3万1000円の追加補正を行うもの。居室介護住宅改修給付費と居室支援サービス給付費との予算の組替えなど。
 - ⑤ 収益的収入を7884万4000円増額して35億7317万5000円、収益的支出を375万5000円増額して36億375万5000円に補正するもの。
 - ⑦ 国から譲りを受ける里道、水路等の法定外公共物について、その管理に関する条例を規定するもの。
 - ⑩ 市役所庁舎敷地として、海隣寺町字鍛冶作及びび田町字イコ田の土地1万366平方メートル、1億7600万円（株大林組とエヌ・ジェイ管理）から取得するもの。財源は、土地開発基金を使用。
 - ⑪ 佐倉市八街市酒々井町消防組合の事務所の位置を、「角来一、七三〇番地」から、「大蛇町二八一番地」に移転することに伴う規約の変更。
 - ⑫ 寺崎都市下水路改修事業について、平成13年度から15年度までの3箇年で総額6億7591万円の継続費を設定するもの。
 - ⑬ 期末手当の支給月減額するもの。
 - ⑰ 割合を0・05

議員発議

- 今議会に議員が提出した発議の概要は次のとおりです。可決した意見書は、関係省庁に送付しました。
- 丸数字は発議案番号
- ① 佐倉市の災害対策に関する決議
- ② 国立佐倉病院廃止統合に伴う後医療の充実を求める決議
- ③ 共に学ぶ教育の推進を求める意見書
- ④ JR佐倉駅周辺地区の治水対策並びに佐倉市見舞金支給要綱の時限措置に関する決議
- ⑤ 印旛沼の環境保全及び治水対策事業の早期実施に関する意見書
- ⑥ 教育予算増額に関する意見書
- ⑦ 印旛沼の環境保全及び治水対策事業の早期実施に関する意見書
- ⑧ 教育予算増額に関する意見書
- ⑨ 教育予算増額に関する意見書
- ⑩ 特定の障害児が普通学級に入学できなくなるような法改正をしないよう求めるもの。
- ⑪ JR佐倉駅周辺地区の治水対策並びに佐倉市見舞金支給要綱の時限措置に関する決議
- ⑫ この地区の抜本的な治水事業の見直しと水害防止対策の実施、平成13年10月10日の水害の被災者に特例見舞金の支給を求めるもの。
- ⑬ 印旛沼の環境保全及び治水対策事業の早期実施に関する意見書
- ⑭ 印旛沼の環境保全と治水対策を千葉県の主管事業として早期に実施することを求めるもの。
- ⑮ 教育予算増額に関する意見書
- ⑯ 学校週五日制に向けての社会教育施設の充実や少人数授業実施のため教育予算の増額を求めるもの。

3月定例会の予定

議会を傍聴してみませんか

初日 3月1日(金) 午後1時から
一般質問 7日(木)、8日(金)、11日(月)、12日(火) 午前10時から
最終日 27日(水) 午後1時から

日程は変更になることもあり、議会事務局へお問い合わせください。

議会の模様がお茶の間でもご覧になれます

CABLE NET296
5チャンネルでは、本会議の様を放送しています。

3月定例会初日の放送予定

3月2日(土) 午後6時から7時
一般質問の放送予定
3月8日(金)、9日(土)
12日(火)、13日(水)
午後6時から10時
最終日の放送予定
3月28日(木) 午後6時から7時



佐倉市議会のホームページもご覧ください

佐倉市のホームページからどうぞ！
<http://www.city.sakura.chiba.jp>
オリジナルページ 議会事務局を
クリックして下さい。

議会百景

去る10月10日の集中豪雨は、市内各地域に床上・床下浸水等大変な被害をもたらした。特にJR佐倉駅周辺地域では、過去10年間に3回の被害を被っている。

佐倉市総合計画にある「災害に強いまちづくり」を単に入ローガンに終わらせないため、議会一丸となって全力で取り組むことをあらためて確認するとともに、「佐倉市の災害対策に関する決議」を可決した。

執行部も議論の過程において最優先事業の一つとして災害対策に取り組むことを表明したことは、大きな成果である。(M・K)